

# 佐伯鶴城新聞

since 1911

第87号

所立城校  
編集鶴城学  
分伯等開  
大佐高新

責任者 橋本健太郎  
編集長 橋本健太郎

## 「使いたすと止められない」

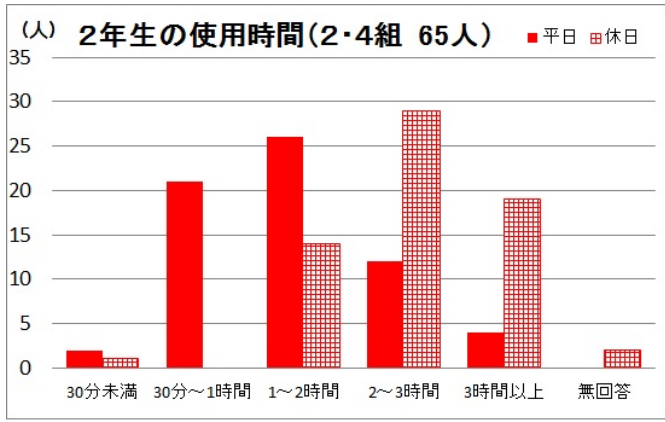
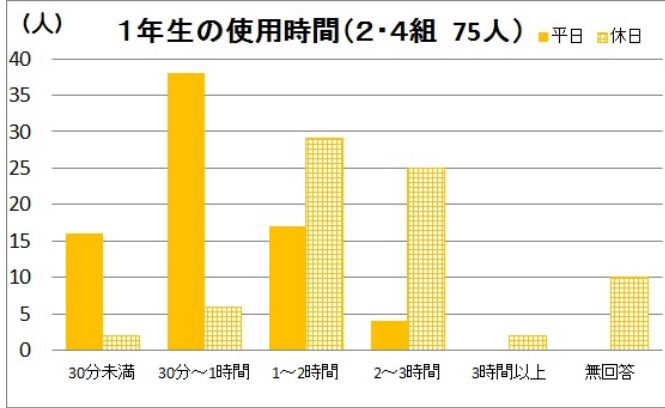
## スマホの使い方を考える

3学期は、3年生の受験や1・2年生の進級準備のため学習に力を入れる時期である。今号では、勉強の障害になり得るスマートフォン等電子機器の使い過ぎについて、鶴城生の使用の実態を調査した。

今ではほとんどの高校生が自分の携帯電話・スマートフォンを所持している。気軽に調べものができる。便利だが、使い過ぎによる問題も少なくない。そこで、鶴城生がスマホを1日どれくらい使用しているのかアンケート調査を行った。

1年生は平日1時間程度に収まっているが、休日は1時間以上、2年生は2時間以上使用する人が半数を超えている。使い過ぎる理由を聞いてみたところ「使いたすと止められない」「メールを相手に返信しなければいけないから」などの実態が見られた。

また、家庭もしくは自身で自身に制限を設けているという生徒は140人中22人と全体の15%程度。



1・2年生のアンケート結果

SH 最先端の科学技術に触れることを目的とし、首都圏の研究機関を訪問する研修が、先月14日から16日にかけて行われた。

SHの取り組みの一環で、1年生の希望者40名が理化学研究所や筑波宇宙センターなどを訪問した。

徳富響さん(一三三)は「最先端の研究を体験できるいい機会だと思っ参加した。初日に訪問した日本科

SH 新聞部員を募っています。新聞制作や写真に興味のある方は気軽に化学準備室まで。

SH 最先端の科学技術に触れることを目的とし、首都圏の研究機関を訪問する研修が、先月14日から16日にかけて行われた。

SHの取り組みの一環で、1年生の希望者40名が理化学研究所や筑波宇宙センターなどを訪問した。

徳富響さん(一三三)は「最先端の研究を体験できるいい機会だと思っ参加した。初日に訪問した日本科



熱心に展示を見学する参加者(日本科学未来館・東京)



協力して札を探す(体育館)

## 百人一首大会

# 正月に熱き戦い

## 佐々木さんが優勝

百人一首大会が1月9日、始業式の午後に行われた。1・2年生はそれぞれ、覚えてきた歌の札を奪い合い腕を競い合った。

企画した文化委員長の本桃花さん(二一四)は「大会の準備は、10月から取り掛かり、本番までに余裕を持った。不安もあったが、皆が楽しんでくれてよかった」と喜ぶ。また、読み手として協力した實戸奎伍さん(二一二)と前田恵祐さん(同)について「上手に面白く読んで会場を盛り上げてくれた」と話した。

大会は1回戦45分間を2回行い、取り札が多かった3名と3クラスを表彰する。クラス別では、1位が2年2組、続いて2年1組と1年3組。個人では、2回戦で合計87枚もの札を取った佐々木音寧さん(二一一)が優勝。2位3位は米田芽衣さん(二一五)が79枚を取りそれぞれ表彰された。

見事優勝した佐々木さん。「昨年は2位だったので、今年こそ1位になって嬉しかった。優勝には少しだけこだわっていたが、みんなで楽しめることが一番」と笑顔がこぼれる。札を速く取るコツを聞いてみたところ「上の句の『1字決まり』『6字決まり』などに注意してみること」と話してくれた。

(吉田 真悟)

SH 最先端の科学技術に触れることを目的とし、首都圏の研究機関を訪問する研修が、先月14日から16日にかけて行われた。

SHの取り組みの一環で、1年生の希望者40名が理化学研究所や筑波宇宙センターなどを訪問した。

徳富響さん(一三三)は「最先端の研究を体験できるいい機会だと思っ参加した。初日に訪問した日本科

布地のセルスマンをしてグレイブルは、ある朝目覚めると自分の体が毒虫になっていた。背中は甲羅のように固くなり、腹は褐色に膨れ上がった。ドイトの作家・カフカの『変身』は、主人公がある日突然毒虫になってしまったところから始まる。仕方なく自分の部屋に閉じこもって暮らしたグレイブルだったが、その体は段々と人間らしさを失っていく。彼ほどのような変身はさすがに困るにしても、年も明け、自分を変えたい、変わりたいと考える人は少なくないのではないか。「一年の計は元且にあり」というように、この時期は何かと目標を立て、決意を新たにする機会も多い。一方で早くも挫折してしまったり、目標を見失ったりすることも少なくない。冬休みの課題調査も終わり、いよいよ本格的に3学期が始まる。良いスタートが切れた人もそうでない人も、日々の積み重ねを大事にしながら過ごしたいものだ。ちなみにその後の「せい」と現実逃避していた主人公は、次第に「どのようにして生きていくか」ということを考え始める。1年間の総決算となる3学期、今まで以上に大変な思いをすることもあるかもしれない。グレイブルのように、言い訳ではなく常に解決策を考えることを意識したい。